

10月19日(日)

刺身盛り、アラも
販売いたします

寿司盛り
(8貫内2貫くえ)

1,200(税込)
円

西田鮮魚店 店長 祐宗 優司
さあ今度はお客様に喜んでもらい
ましょ♪沢山のご来店、スタッフ一
同お待ちしております。

通りの展開に!?
木曜日ギリギリまで、広告作り何
するか?悩んでいたその日の早朝3
時。この日はなぜか目が覚め、早めに
市場に向け出発。そこでいきなり自
に飛び込んできた巨大な魚!!鰯にし
てはまだ早い。近くに行つてよくよく
見ればくえの二文字が…こ、これは
買うしかない!!いや、待てよ。大丈夫
か?この巨大なくえを捌く事が出来
るか?自問自答しながら、買いま
す!と威勢よく言つてしまつた:こう
いう事があるから魚屋をやめれない
んです。少年の心が蘇るんです(笑)。
という訳で、今週はくえ入りの寿
司や刺身、くえのあらを鍋物用に取
り揃えた、くえ祭りを開催します!!
若手2人に約40キロのくえを持て
もらいましたが、迫力ありますね!!
スタッフ皆んなの目がキラキラする
姿を見れば、買って良かったと思いま
す(笑)。

さあ今度はお客様に喜んでもらい
ましょ♪沢山のご来店、スタッフ一
同お待ちしております。



島根県産
約40キロのくえ入荷

く え 祭 り



西田鮮魚店

872-5246

御用聞き便専用番号 090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)

『決め手は昭和の温もり』

鮮コープレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史



I 六角精児『ふんわり』で、ふたたび芸備線にふれる
【あと、広島の方にね、芸備線つていう、今いろいろと、
あの、存廃問題で、まあなんていうか、どうしたらい
のかといつて、ローカル線があるんだけど、そこに
コンサートに行つてきたんだよ。あれは東城駅という
駅かな。帝釈峡という、すごい、いま行つて最高のなん
ていうか山道があるんですよ。で、そこに自然でできた
カルスト台地だから水に削られて、なにかこう他の作用
もあつたのかな、すごいでつかい岩に穴が開いて自然の
橋ができるて、その下に川が流れているんだよ。雄橋つ
ていうのかな。そこに行つて、ひじょうに、こう、リ
ラックスしたというか、あの、マイナスイオンを浴びて
きましたわ。】

10月9日、先週の放送に続いて、この週も六角精児が『ふ
んわり』の『今週のオレ』というコーナーで芸備線のことを
話していた。司会の千葉美乃梨アナとのやりとり。
「今週、オレなにしてたんだろ?」
「どこか行かれました?」

「行つた。行つたのはね、えと広島とそれから島根か」
「今まさに『ばけばけ』の舞台になつているところですか?」

「うん、『ばけばけ』で、すつごい(ことになつて)いる)。
なんかね、すべてのおみやげに『ばけばけ』の帯が
貼つてあるようなね」

と話し始め、宍道湖のしじみ汁が大きくておいしかつたと、
しじみ談義を続けたあと、冒頭の芸備線の話に移つた。時間
にして1~2分。あつという間だが、聞いてるリスナーには
残つたのではなかろうか。

芸備線・東城駅・帝釈峡・カルスト台地・雄橋

情報は誰が発信したかということが大切だ。

ここでは六角精児。鉄道を愛し、酒を愛し、奇妙な歌を歌
い、『呑み鉄本線 日本旅』というBSならではの番組で気
ままに振舞う(かのように見える)、さりげなく癖のある役
をこなす、懐の深い舞台役者が、思つたままに話すからこそ
耳に残る。そういう意味でも『芸備線魅力創造プロジェクト』
のみなさんの今回の企画は素晴らしいと思う。

II 開業100周年を目指す落合駅

ただ、ここからが大切だ。ここからが難しい。

ラジオ番組でPRして訪れた人に「来てよかつた。乗つて
よかつた」と思つてもらわんと。「これかあ」ではまずい。
JRの説明を聞くまでもない。ローカル線を残すのは至難
の業だ。頭の中ではたぶん誰しもわかっている。でも無くし
たくない、無くしちゃあいけんと心が訴える。

じゃあ、どうすればいい?人が乗ればいい。どうすれば人
が乗る?乗りたくなるようにすればいい。だから、どうやつ
て?それが、わかれば苦労せん。

この5日に行われた落合駅の開業90周年記念イベントは大
盛会だつたらしい。サブタイトルに『開業100周年を目指
して』とあつた。さすがだ。でも、いつもイベントをするわ
けにもいけない。普段だ。もつと言えば、遠くから来てくれる
人のこともだが、地元の人が乗ることも忘れちゃいけない。

III ドライブインミッキーの昭和力

ただ、最近思うところがある。これつてすごいよなあ。

『ふんわり』の中で六角精児が唐突に話しか始めた。どんな
話の流れでそうなつたのか覚えていないが、突然、私の耳に
聞きなれた名前が……『ドライブインミッキー』。

「ドライブインミッキーというのがあるらしいんですよ、
自分はまだ中に入つたことはないんですが……すごい
店らしいんで、ボクも行つてみたいと思つてゐるんで
す」

今日(10月12日)も1時過ぎに前を通つたが、どう見ても
他の町から来たようなバイクや車がとまり、たくさん的人が
店の前に屯していた。2年前『秘密のケンミンSHOW』で
紹介されてからそうなつた。全国放送の力は恐ろしい。

しかし、紹介される前から、お昼時はサラリーマンのお客
様でいっぱいだつた。私は、あえて時間をずらして行つた。
必ず中華そばを頼んだ。とくにおなかが空いているときは中
華セット。「これはラーメンじゃない、中華そばじゃや」。
よそから来た知り合いを連れて食べさせた。「ほんま
じゃ」。麺をすすりスープを堪能した。

それが『ケンミンSHOW』以来、入れなくなつた。ふつ
う2~3ヶ月もすれば元に戻る。でもいまだにお客があふれ
ている。なんだろう。考えた。たぶんこうじやないか。

『ミッキー』には昭和がある。『ドライブイン』を冠した
店が日本にいくつあるだろう。昭和の時代、いたるところに
『ドライブイン』はあつた。今はいい。みんな時代に合わせ
て名前を変えた。『ドライブイン』は昭和の名前だ。変えな
い勇気が、『ミッキー』にはあつた。

そして、味はもちろん、あのメニューの多さ。量の多さ。
いい意味で雑然とした居心地の良さ。奥さんの絶妙の接客。
客席から見える手際よく動く厨房の人たち。おまけに牛乳が
ついてくる。びっくりだ。

飲食店をやつてゐるからわかる。並大抵でこんな店はでき
ない。なぜなら人間力が必要だから。言い方を変えたら働き
者でしかできない店だから。飲食店の原点がここにある。
そして昭和がここにある。イメージじゃない。昭和のイ
メージを売りにする店はいくらもある。でもそれは偽物の昭
和だ。そんなものすぐに飽きられる。そうじやない。『ミッ
キー』には誰にも真似ができないあの昭和がある。



地元の人に愛され、遠くからも人を呼ぶ
ドライブインミッキー

IV 芸備線の列車に手を振ろう運動

何日か前、この手紙を読んでいたいいる女性からお手
紙をいただいた。思った。田舎には昭和の温もりがあると。

今回のチラシ、六角精児さんが西城に来られ、トークや
コンサートをされたこと、私も新聞で知り残念でした。N
HKの『呑み鉄』時々見ていて六角さんに逢いたかったで
すね。『芸備線の列車に手を振ろう運動』をやつてゐる者
としては残念!残念!

今日の新聞には落合駅で90周年イベントで1000人も
來ていたらしたそうで、すばらしいことです。昨日は午前
は地域でグランドゴルフがあり、午後は休みだつた私……。
イベントには行かないけど、列車には手を振る私!

